

いただいたご意見と区の考え方

参考資料2

令和2年度生野区区政会議(第2回くらしの安全・安心部会)

番号	発言者	ご質問等	回答者	回答
1	杉浦委員	<p>地域には、やはり戦前からの長屋があり、独居老人が長く住まれている。住民の方が突然入院され、そのまま自宅に戻って来られない。又、別の方が亡くなられて、その後、そこには誰も住まれないため空き家となる。</p> <p>10軒長屋の場合、3軒の方がそこに生まれ、残り7軒は空き家のままでそこには誰も住まれないという事もなく、残り3軒の方が亡くなるまでは、長屋の建物を壊して新しく建て直すことが出来ず、そのような状態の長屋が多くあるが、地域では何もできない。</p> <p>新しく立て直せば若い世代の人が入ってくるのだが。</p> <p>長屋に残っている人達の転居などが出来れば活性化できると思われる。何とかならないものか。</p>	<p>森地域まちづくり課長</p> <p>井平安心まちづくり担当課長</p>	<p>特定空家や老朽住宅の対策として、危険等の空き家の情報が入った段階で大阪市空家等計画に基づきその建物の危険度を判断し、危険な状況になっている空き家について、所有者調査を行い、改善してもらうよう助言や指導を行っています。なお、特定空家に関しては区役所が担当し、長屋(住まれている)などの老朽危険家屋に関しては都市計画局 建築指導部が担当しております。引き続き、危険な空家等の解消に取り組めます。</p> <p>また、空き家の増加は、まちの防犯性・防火性の問題だけでなく、コミュニティの衰退やまちの魅力の低下など、地域の課題にもなっていますが、一方で、長屋の空き家を活用したいというニーズもあることから、空き家を課題ではなく魅力として捉え、空き家の利活用促進により、地域活性化にも取り組んでいきたいと考えております。</p>
2	杉浦委員	<p>自助・共助の防災対策の必要を感じ、日頃からの取組活動が重要と感じている割合、90%以上となっているが、とてもそのようには思えない。</p> <p>2016年12月に地区の防災計画は出来たが、それ以降地域での防災訓練が出来ておらず、新しい住民も増え、住民の意識は低くなっている。</p> <p>現在コロナウイルスの問題で動けないが、落ち着けば地域全体の防災訓練を早急の実施し、防災対策への意識を高めていく必要性を感じます。</p>	<p>井平安心まちづくり担当課長</p>	<p>新型コロナがの感染状況をふまえ、各地域の防災訓練や防災出前講座を実施し、住民の防災意識を高めるよう取り組んでいきますので、ご協力いただきますようお願いいたします。</p>

いただいたご意見と区の方

令和2年度生野区区政会議(第2回こどもの未来部会)

番号	発言者	ご質問等	回答者	回答
1	榎木委員	<p>民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」についての質問及び意見ですが、課外授業の先生方が年配の先生で、指導の仕方も面白くなく、子ども達が興味が湧かないとの意見もあり、又、教育の仕方も一辺倒でレベルに合った子ども達の学力向上が見られない感じがしますとの意見もありました。</p> <p>せっきくの課外授業ですので、生きる学習をお願いできればと思います。</p> <p>塾に行けない子ども達にも気楽に参加でき、興味が湧く課外授業になればもう少し参加者も増えると思います。</p> <p>スタートしたばかりですが、色々模索しながら推進していただければ助かります。</p>	大川地域活性化担当課長	<p>民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」については、学習習慣の定着及び基礎学力の向上に向け、生野中学校、巽中学校、生野区民センターの3教室で実施しています。</p> <p>生徒3～5名に1名の講師を配置し、個別・少人数指導で、受講者の学年及び習熟度に合わせて行っていますが、ご意見を踏まえて、協定事業者に対して、学習意欲の向上等、生徒が主体的に取り組めるよう、生徒に寄り添い、きめ細かな学習指導を行うよう依頼いたしました。</p>
2	森本委員	<p>「生きるチカラを育む絵本プロジェクト」、「子育てにやさしく、教育につよいまち」も良い取組みかと思えます。「すべての人々の人権を互いに尊重し、認めあえる環境づくり」との更なる充実を目指して、「外国ルーツ親子のための絵本設置」も検討いただけたら良いのかと思えます。</p> <p>図書館、保健所、幼稚園、子支援センター、小中学校などに外国語の絵本の設置ができると良いと思えます。</p> <p>区としても予算化を望みたいですが、難しい時は、区として推奨するなどの取組を進められたらと願います。</p>	熊見地域福祉推進担当課長	<p>外国語の絵本に親しむには、身近では図書館での利用が一般的に考えられます。生野図書館には、韓国・朝鮮語400冊、中国語8冊の絵本がございます。大阪市図書館には、13言語の絵本、8,000冊以上蔵書していると聞いています。大阪市図書館では、身近な図書館に無い図書は市内の他の図書館から取り寄せることができます。</p> <p>そのほか、子育て支援センター、つどいの広場には、韓国・朝鮮語、中国語の絵本が約70冊あります。</p> <p>今後、生野区での子育て情報の発信時に生野図書館等と協同で周知することを検討していきます。</p> <p>また、生野区役所内には、キッズルームや待合場所等に、数十冊の絵本を置いていますが、現在外国語の絵本はありません。</p> <p>今後、予算等の関係もあり時期は未定ですが、外国語の絵本の設置をしていきたいと思えます。</p> <p>また、絵本のみならず、外国籍の方も含めたすべての方が子育てしやすいまちと感じられるよう、引き続き取り組んでまいります。</p>

番号	発言者	ご質問等	回答者	回答
3	森本委員	<p>「“生野の教育”の実現」、 「未来を生き抜く力の育成」も 取組として賛同するところで す。その中で、“学校を休んで いる児童”の人数や行き場 所、そのこどもたちの課題など はどの程度把握されているの でしょうか。又、うち外国ルー ツのこどもたちはどの程度の 割合なのかも気になります。 さらに、障がいのあるこども 達が児童発達支援センターや 特別支援学校などの個別支援 を受ける割合が高くなっている ように感じています。 “仲間で育つ”ための“学校 づくり”、“まちづくり”も同時に 目指していけると“生野区”らし くて良いのではと思います。</p>	大川地域 活性化担 当課長	<p>“学校を休んでいる児童”の人数等につきま しては公表されていませんが、公表されているも のとして、大阪市全体の不登校数は、令和元年 度で小学校1,033人、中学校3,084人となってい ます。 不登校をはじめ、ご質問のような、配慮が必 要な児童・生徒に関して、話を聞く等情報が入っ た場合は、必要に応じて、学校、教育委員会事 務局と、区役所内部におきましても担当間で情 報共有し、連携しています。 区役所といたしましては、課題を取りこぼすこ とがないよう、より一層、家庭、地域、学校、関 係部署等との連携を密にし、「生野の教育」の 実現に向け取組んでまいりますので、今後と も、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたし ます。</p>